

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 219

所管部局	福祉部	所管課	社会福祉課	担当者名	松原 留美
事業名	障害者自立支援利用者負担軽減事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	障害者自立支援利用者負担軽減事業			政策体系	146
会計	一般会計	科目	3. 民生 - 1. 社会 - 3. 障害		

1. 事業の概要

福祉サービス等利用者負担額が上限額を超えた場合の利用者に対して、超過分に対して補助を行う。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

障がいのある人が住み慣れた地域で安心して生活するための事業。
障害福祉サービスを受けるためには、自立支援法に基づき負担金が必要となっており、その負担を軽減する。

②事業を実施する必要性

障害者自立支援法に基づく制度であり、府の基準に基づき実施している。

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	369	235	395	287	300	0	0
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	150	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	369	235	395	287	150	0	0
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.05	0.20			
人件費		千円	—	—	249	1,015			
事業費総額		千円	—	—	644	1,302			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

障害福祉サービス助成 286,903円

5. 事業結果の概要

福祉サービス等利用者負担額が上限額を超えた場合の利用者に対して、超過分に対して補助をした。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) その他		
障害者が自立して生活するために必要な、様々なサービス利用に対して発生する、1割の自己負担金に対し、京都府と南丹市にて共同で実施する、負担軽減策である。	申請により随時	

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

利用者負担額の算定と軽減額について議論した。 障害福祉サービス利用者の負担軽減のため必要な事業である。 今後も継続して実施する。(負担が上限額を超えた場合に、京都府と南丹市が越える部分を負担する)
--

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点 利用者負担額の算定と軽減額について議論した。 ②当該事業のアピール事項 福祉サービス等利用者負担額が上限額を超えた場合に、京都府と南丹市が越える部分を負担する事業である。 ③反省点、今後の展開・方向性等 障害者自立支援法に基づき事業を実施する。
